

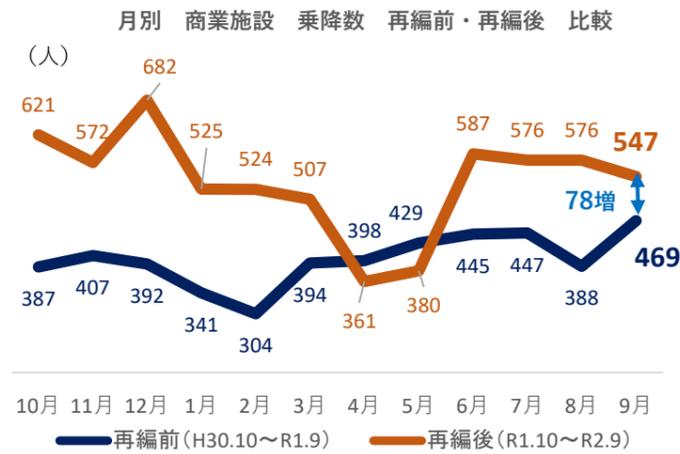
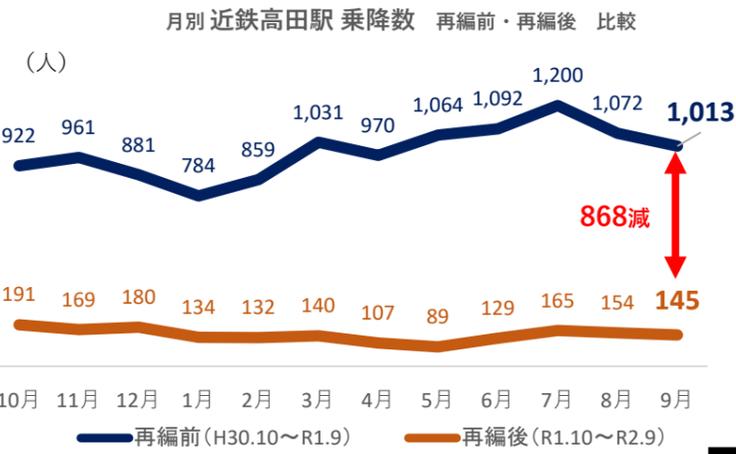
# 南部支線 運行再編の具体化について

## R1.10再編後の南部支線の現状及び再編方針

### <現状>

・近鉄高田駅利用が激減

・商業施設利用は増加傾向



### <運行再編方針>

1. 近鉄高田駅との接続改善
2. 買い物目的利用者における利便性の維持・確保
3. ルートとダイヤ短縮のため、バス停の省略又は移設を検討

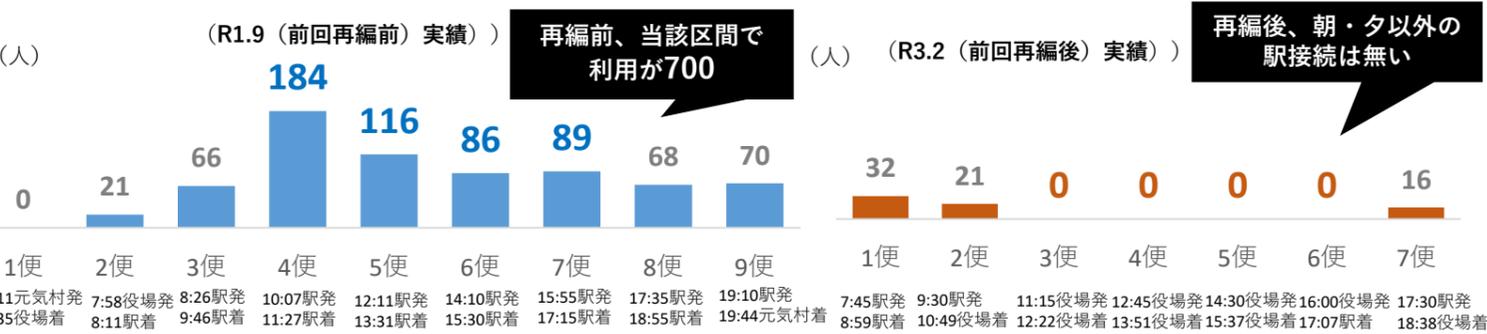
## 運行再編において押さえておくべきポイント

### 1. 近鉄高田駅との接続改善について

・利用者取り戻し対策として、近鉄高田駅⇄イズミヤ、南郷・百済地域の接続を強化  
→特に、以下の便の確保が必要

- (1) 正午前に当該地域から駅に到着できる便 (以下、再編前4便に該当)
- (2) 12時～13時台に駅から当該地域へ帰れる便の確保 (以下、再編前5便に該当)
- (3) 15時台に駅から当該地域へ帰れる便の確保 (以下、再編前6～7便に該当)

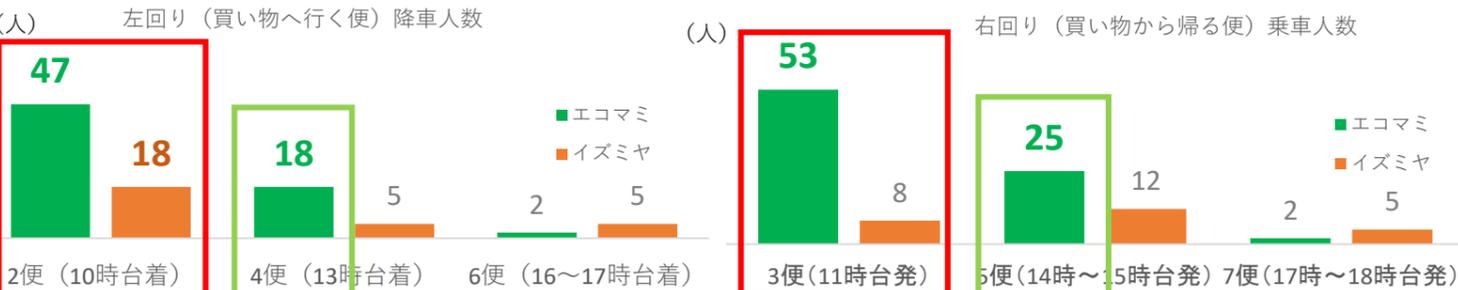
近鉄高田駅⇄イズミヤ、南郷・百済地域利用者数推定



### 2. 買い物目的利用者における利便性の維持・確保について

- (1) 赤部・百済地域から10時台にエコー・マミへ行き、11時台に帰れる便の確保
- (2) 赤部・百済地域から13時台にエコー・マミへ行き、14～15時台に帰れる便の確保
- (3) 真美ヶ丘地域から10時台にイズミヤへ行き、11時台に帰れる便の確保

商業施設 (エコー・マミ、イズミヤ) バス停 月当たり乗降者数 (R3.2実績)



## 南部支線の運行再編 具体的なダイヤ及びルート設計

### <運行ダイヤ及びルート設定のコンセプト>

ルート及びダイヤのベースは崩さず、その上で、近鉄高田駅接続を増やす  
→買い物目的の方含み、既存利用者への影響を最小に抑えられる (資料4-2 運行ダイヤ案のとおり)

### <運行再編方針に基づく運行ダイヤ・ルートの具体化>

#### 1. 近鉄高田駅との接続改善

	新ダイヤ (案) 設定内容
2便 (左回り)	最終に百済地域を追加し、終点の広陵町役場にて中央幹線 (広陵町役場～近鉄高田駅) に接続 →11:27に近鉄高田駅へ到着する便の確保
3便 (右回り)	最終に南郷北口～近鉄高田駅を追加 →12:32に南郷・百済地域から近鉄高田駅へ到着する便の確保
4便 (左回り)	近鉄高田駅発として近鉄高田駅～南郷北口を追加、 最終にも南郷北口～近鉄高田駅を追加 →13:00に近鉄高田駅を出発し南郷・百済地域へ帰る便、14:21に近鉄高田駅へ到着する便の確保
5便 (右回り)	近鉄高田駅発として近鉄高田駅～南郷北口を追加 (→15:00に近鉄高田駅を出発して15時台 (一部16時台) に南郷・百済地域へ帰る便の確保

ポイント **メリット**：南郷・百済地域、イズミヤ⇄近鉄高田駅の接続を計5回増やせる  
**デメリット**：2～5便において路線がさらに長大化する

#### 2. 買い物目的利用者における利便性の維持・確保

	新ダイヤ (案)	現行ダイヤ	買い物滞在時間
2便 (左回り)	赤部・百済地域→エコマミ10:13着 真美ヶ丘地域→イズミヤ10:40着	赤部・百済地域→エコマミ10:16着 真美ヶ丘地域→イズミヤ10:43着	再編すると3分減 エコマミ：93分 イズミヤ：38分
3便 (右回り)	エコマミ11:49発→赤部・百済地域 イズミヤ11:21発→真美ヶ丘地域	エコマミ11:49発→赤部・百済地域 イズミヤ11:21発→真美ヶ丘地域	
4便 (左回り)	赤部・百済地域→エコマミ13:43着	赤部・百済地域→エコマミ13:18着	再編すると11分増 エコマミ：117分
5便 (右回り)	エコマミ15:40発→赤部・百済地域	エコマミ15:04発→赤部・百済地域	

ポイント **メリット**：現行ダイヤと大きく変わらない時間帯において、買い物利用の便を確保できる  
**デメリット**：午後は、行きの便と帰りの便の間 (滞在時間) がさらに長くなる

#### 3. ルート・ダイヤ短縮のため、バス停の省略又は移設の検討 (資料4-3 運行ルート短縮案のとおり)

### <当該運行再編により期待できる効果 (試算)>

当該運行再編により、前回再編前 (4～7便) の近鉄高田利用475人/月 (5,700人/年) が戻ってくると、  
運賃収入は95,000円/月 (1,140,000円/年) 増加する見込み

